

令和3年千代田区議会第2回定例会

公明党議員団ニュース

調査なくして発言無しとは公明党の伝統です。定例会ごと議員団として行った質問や成果などをニュースとして発行しています！皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています！

円滑なワクチン接種へ 万全を期せ！



6/9 本会議 一般質問
米田かずや

問 この度のワクチン接種は国としても自治体としても過去に例がない大規模なものであり、様々な課題も予想される。区として区民が安全で円滑

な接種ができるよう国や都とも連携しながら万全を期してもらいたい。そこで、①区でもワクチン接種が始まったが、これまでの接種において課題となった事項は。②国の集団接種や職域接種も始まるが連携し区民も接種できるよう進めてはどうか。③対象者が12才以上に引き下げられるが方向性や方針は。

答 〈地域保健担当部長答弁・抜粋〉
区は今後も起こるであろう様々な課題に柔軟、的確に対応し区民が安全で円滑な接種ができるよう全庁挙げて取り組んでいく。①待機場所の確保や接種会場の導線等の課題はその都度改善してきた。今後、個別接種を担う区内診療所でのワクチン確保が大きな課題である。②一日も早く接種が受けられるよう国の大規模接種センターの活用も考える。また職域接種についても安全面に配慮しながら連携に努める。③中学校などでの集団接種は慎重に検討していく。



◆ 他の質問項目は

問 デジタル化が進む中で、デジタル弱者への支援をどう行っていくのか。具体的にはスマホなど情報端末機器を貸し出し、派遣型で使い方などをサポートしてはどうか。



録画映像

認知症とともに生きる 希望条例の制定を！



6/8 本会議 代表質問
大串ひろやす

問 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」と富山市の「このゆびと一まれ」の取り組みを紹介した。この二つに共通することは多くある。誤った認知症

観の転換、ノーマライゼーションという考え方、本人の意思の尊重、そして人と人のつながりを大切にした生活などである。是非、これらのことを千代田区の今後の認知症施策に生かしていきたい。そこで、区長に認知症施策推進にあたっての基本的な考え方を問う。また、認知症対策条例の制定を提案する。所見は。

答 〈区長答弁・抜粋〉
今日では認知症は誰もがなりうるものであり認知症施策の充実が急務である。認知症に対する不安や恐れを抱く人が少なくない。地域住民、事業者、行政が連携して認知症を正しく知り、理解し、寄り添い認知症本人が人としての尊厳を持って、自分らしく暮らしていける地域共生社会を目指していく。認知症施策を推進する条例制定は制定のみを目指すのではなく制定のプロセスにおいて多くの人に関わり議論することが重要。具体の施策推進と合わせて検討する。



◆ 他の質問項目は

問 ノーマライゼーションの視点から福祉や住まいに関するすべての事業の総点検を提案する！
問 都市計画マスタープランが改訂された。プランで目指したものは何か。



録画映像

朗報



生活応援へポイント還元 地域経済活性化事業



樋口区長へ4月6日公明党議員団として要望した生活応援商品券事業(上写真)が「地域経済活性化事業」として実現しました！

◆ 地域経済活性化事業の目的

コロナにより影響を受けている区民の生活をポイント還元をもって応援し、消費してもらうことで地域の飲食店などを支援すること

◆ 事業のスキーム

区民等が区内中小店舗にてスマホのキャッシュレス決済を利用した場合にポイントを付与します

◇ 対象は、区民等の区内店舗利用者

◇ 対象店舗は、

☆通常枠：大手資本、チェーン、フランチャイズ、コンビニなどを除く区内店舗

☆特別枠：区独自のコロナ感染症対策認証を受けた飲食店（右を参照）

◇ プレミアム率：通常枠 20%、特別枠 25%

◇ 付与上限：月計10,000ポイントまで×2（通常枠で1回、さらに特別枠で1回の計2回実施します）ただし、一回の決済では1,000ポイントまで

◇ 実施時期：新型コロナの状況をみて実施します。通常枠期間として一ヶ月、特別枠期間としても一ヶ月実施

◆ スマホを利用できない方へのサポート

◇ 経営者へのQR決済導入支援

◇ 消費者へのQR決済利用方法の支援窓口を設置して行います

◆ 問い合わせは、商工観光課 商工振興係

03-5211-4185

ちょっと教えて



千代田区独自の認証で 飲食店などを支援

千代田区は、新型コロナウイルス感染症対策として飲食店等の事業者の皆様と一緒に、利用者の皆様の安全と安心を確保するため、区内で適切な感染予防対策を実施している施設を「新しい日常店」として認証する制度を昨年8月にスタートさせました。好評受付中です！

◆ 認証の申請（無料）

千代田区の新しい日常店認証申請書と新型コロナウイルス感染症の予防対策に関するチェックシートを提出します

◆ 保健所による審査

◇ チェックシートの書類審査を行います

◇ 認証ランクclass2は保健所職員が施設に出向き確認を行います

◆ 認証通知書とステッカーの交付など

審査の結果、認証基準に適合していると認められた場合、認証通知書とステッカーを交付します。また、CO2センサーの無償配布や左の地域経済活性化事業のポイント還元プレミアム率が25%の特別枠となります



認証ランクClass1



認証ランクClass2

◇ 毎日、感染症予防対策を行い、管理記録票に記入し施設内の見やすいところに掲示すること

◇ 認証取得から3か月、6ヶ月、1年が経過すると保健所の担当者が現場の実施状況を確認します

◆ 問い合わせは

千代田保健所 生活衛生課 環境衛生係まで

03-5211-4121

編集後記 地域経済活性化事業は朗報となりました！スマホを使えない高齢者などにも同額の生活応援が受けられるようプレミアム商品券の発行やスマホの無償貸し付けなどを要望していました。同時の実現とはなりませんでしたが引き続き実現に向けて頑張っております。（公明党議員団）